

CASBEE京都-新築(2011年版)
(仮称)イオンモール京都桂川新築工事 B街区

■使用評価マニュアルCASBEE京都-新築(2011年

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	評価点		重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									3.4
Q1 室内環境									3.1
1 音環境									2.2
1.1 騒音						2.2	0.23		
1 室内騒音レベル						3.0	0.40		
1 室内騒音レベル						3.0	1.00		
1.2 遮音						1.0	0.40		
1 開口部遮音性能						1.0	1.00		
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音						3.0	0.20		
2 温熱環境						3.0	0.44		3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50		
1 室温						3.0	0.50		
2 室温変動									
3 外皮性能						3.0	0.17		
4 ゾーン別制御性						3.0	0.33		
5 室温変動									
6 室温変動									
2.2 湿度制御						3.0	0.20		
2.3 空調方式						3.0	0.30		
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率				●自然	A(全国版準用)				
2 方位別開口									
3 昼光利用設備				●自然	B(推奨内容)				
3.2 グレシア対策									
1 グレシア対策									
2 昼光制御				●自然	B(推奨内容)				
3 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境						4.0	0.33		4.0
4.1 発生源対策						4.0	0.50		
1 化学汚染物質						4.0	1.00		
2 化学汚染物質									
4.2 換気						4.0	0.30		
1 換気量						3.0	0.50		
2 自然換気性能				●自然	A(全国版準用)				
3 取り入れ外気への配慮						5.0	0.50		
4 換気量									
4.3 運用管理						4.0	0.20		
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50		
2 喫煙の制御						5.0	0.50		
Q2 サービス性能							0.30		3.3
1 機能性						3.4	0.40		3.4
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画				●大切	D(独自基準)	4.0	1.00		
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30		
1 広さ感・景観				●とも	C(独自加点)				
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画				●とも	D(独自基準)	3.0	1.00		
1.3 維持管理						3.0	0.30		
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		
2 耐用性・信頼性						3.0	0.31		3.0
2.1 耐震・免震						3.0	0.48		
1 耐震性						3.0	0.80		
2 免震・制振性能						3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.33		
1 躯体材料の耐用年数				●大切	A(全国版準用)	3.0	0.23		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.23		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.09		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.08		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.15		
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.23		

2.4 信頼性					3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3	電気設備				3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性					3.6	0.29		-	3.6
3.1 空間のゆとり					5.0	0.31		-	
1	階高のゆとり				5.0	-		-	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		5.0	1.00		-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性					3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	4.0
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)	周辺に十分な緑地を設け、かつ自生種を用いて	4.0	0.30		-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	景観地区にあり、認定を得ている。	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					4.0	0.30		-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも、 自然	A'(全国版準用)		5.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-		-	3.4
LR1 エネルギー					-	0.40		-	4.3
1 建物の熱負荷抑制					5.0	0.30		-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	●自然	A(全国版準用)	太陽光を利用している。	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化					5.0	0.30		-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				ERR=48.7%	5.0				
集合住宅の評価					3.0	0.20		-	3.0
4 効率的運用					3.0	0.50		-	
4.1	モニタリング				3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制				3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	2.5
1 水資源保護					2.2	0.15		-	2.2
1.1 節水					1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.5	0.63		-	2.5
2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.7	0.22		-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避					2.6	0.68		-	
1	消火剤				2.0	0.33		-	
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33		-	
3	冷媒				3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮					4.4	0.33		-	4.4
2 地域環境への配慮					2.0	0.33		-	2.0
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制				5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40		-	
1	騒音				3.0	0.50		-	
2	振動				3.0	0.50		-	
3	悪臭				-	-		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制					3.0	0.40		-	
1	風害の抑制				3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制				3.0	-		-	
3	日照阻害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30		-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目 重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う「とも」:ともに使う「自然」:自然からつくる